

編集長・渡辺の

# 賛否両論

VOL.  
4

お題

長期欠場選手、産休や引退選手は  
プレスリリース対象に

長期欠場を「仕分け」

最近、あの人が走ってるのを見ないなくなること、ないですか？はつきり言って、多々ある。気が付けばいなくなっていたが、気が付けばまた走ってたりする。F休みであれば、過去の成績を調べればすぐに分かる。F2なら延べ90日間の休みだ。だが、例えば燃料不足(ガス欠)などの整備不良、周回誤認などで褒賞懲戒処分の場合も、大体3か月程度の出場停止処分が下る。ケガや病気で入院していた選手の情報も、ファンは復帰後にメディアを通じて知るくらいだ。

でもそれっておかしくない？って話。ほとんどのプロスポーツの世界で、欠場選手や復帰選手は「公示」される。ケガや出産が絡めば、なおさらだ。だがボートレースではいかなる理由でもファンは「長期欠場」としか認識できないのだ。何でもかんでも長期欠場だ。プロスポーツというのならば、やはり業界としての対応が求められるのではないだろうか。

SNSで選手個人が発表するケースもある。だが全選手がSNSを使用しているわけではない。むしろコンプラなどの観点からセンシティブにならないを得ない。逆

に「こんなこと書くな」ってお叱りを受けることもあると聞く。そんなご時世に、発表モノを選手頼みにするのは、あまりにも酷だ。

産休に対しても公表を

特に最近では産休・育休で長欠する人気女子レーサーも多い。だがこれもファンは、1〜2年間休んでいる選手に対して「たぶん、出産なんだろうな」くらいの認識しかできない。欠場理由は「家事都合」だ。だが出産で長期欠場した選手は、長欠前と同じ級別で復帰できるという規定があるため、選手は競走会及び選手会に報告していることになる。つまり産休を把握しているということだ。オールスターなどでファンのため的大会があるのだから、業界としてまずファンに対しての説明義務を果たす必要があるのではないだろうか。



竹井奈美

引退選手も公示するべき

引退選手に関しても、編集部に多くの問い合わせを受ける。引退の真偽だけでなく、引退理由を尋ねられることもある。SGレーサーなら、会見などの花道を準備されることもあるだろう。だがそうでない選手は、人知れずしれっとオフイシャルサイトから消えていくだけだ。あらぬ憶測は、真実ではない情報も生み出す。「正式」な発表が、業界をより良くしていくのでは？ と思っただけではない。



魚谷智之